

特徴

ナデシコ属の学名を英語読みにしてダイアナンスと呼ばれ、ヨーロッパの多くの原種をもとに中国の(セキチク)や日本のカワラナデシコなどをかけあわせて作られたお花です。このお花の姿から、かつては日本女性の代名詞とされていました。ナデシコは漢字で「撫子」と書き、英名の「Pink」はナデシコを示すのと同時に、この色を表す言葉になりました。



育て方

【用土】

日当りの良い場所で、水はけの良い土を選びましょう。

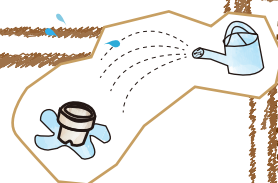


【植え付け】

- ポットまたは直蒔きで、種が隠れるほどの土をかけましょう。発芽適温は15~20℃です。

【水やり】

- 乾燥には比較的強いですが、生育・開花には十分な水分が必要です。
- 土の表面が乾いたらたっぷりと水を与えましょう。



【追肥】

- 成長期には月1回程度の追肥をしましょう。
- 肥料が切れると花つきが悪くなることがあるので注意しましょう。



× 病害虫

アブラムシ

病気

灰色かび病
サビ病など

【その他注意点】

- 株が古くなると生育が悪くなり枯れやすくなるので、タネ蒔きやさし芽で株を更新するようにしましょう。

心理効果

このお花を育てよう(気になる)時は、可憐なたたずまいのお花でふわふわした花びらと色がピンク、紅色であることから、自分が落ち込んだ時にあなたを癒すことができるお花ですので、ゆったりとした気持ちで周囲を見渡すことができ、気持ちがずっと楽になり、とがった神経をホットさせるのです。心理効果の調査では、癒しの高い数値を示していますので(幸福感・温かさ)を感じたい時にオススメです。また、このお花を見ていると自分の失敗を和らげてくれる事が出来「あなた自身を大切にしてください。」と、メッセージを受け取れるので、落ち込んだ時にオススメです。